

教材・学習材論としての国語教育実践学の在り方

司会：上越教育大学 有澤 俊太郎
(14・10・19 長野県勤労福祉センター)

1、司会者からの問題提起 (10分)

- (1) 実践学が成立するための「教材・学習材」の見方・考え方 (前提条件)
 - ・開発論・産出論としての「教材・学習者論」(内容論としての「教材」の位置づけ) 資料①
- (2) 教材・学習者論としての国語教育実践学 (先行事例)
 - ・基本的概念(「表現」「認識」)による国語教育実践学の構想 資料②
 - ・媒材論による国語教育実践学の構想 資料③
 - ・場面の事象分析による国語教育実践学の構想 資料④
- (3) 教師教育の在り方

2、パネリストからの発表 (20分×2人)

- (1) 認知学習論からの教材・学習材論 (筑波大学：塚田泰彦氏)
 - ・教材・学習者材論の性格
 - ・国語教育実践学の構想
 - ・教師教育の在り方

- (2) 単元学習論からの教材・学習者論 (鳴門教育大学：世羅博昭氏)
 - ・教材・学習材論の性格
 - ・国語教育実践学の構想
 - ・教師教育の在り方

3、フロアとの意見交換 (司会者、パネリスト間の意見交換を含んで30分)

4、全体シンポジウムのための論点の確認 (10分)

資料

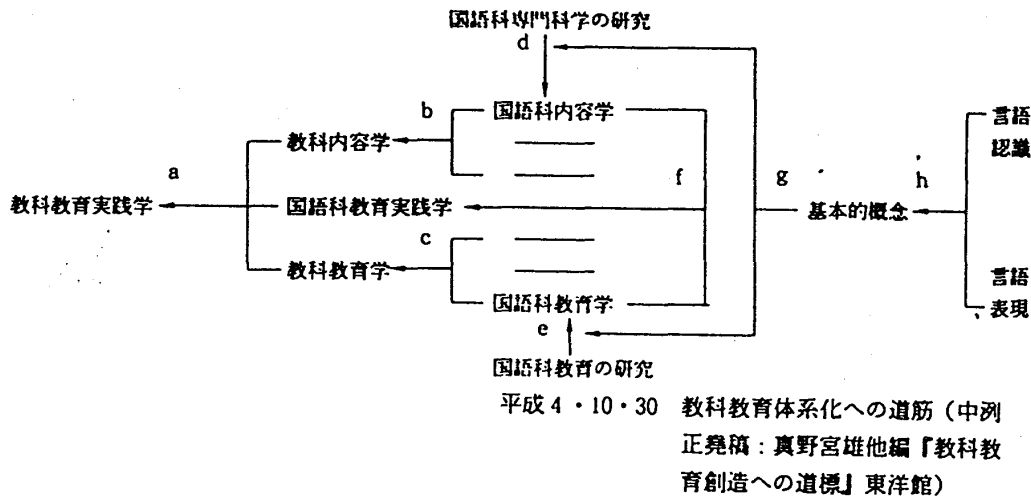
① 教材論の転換

W → TM → P (R)
(T) (T)

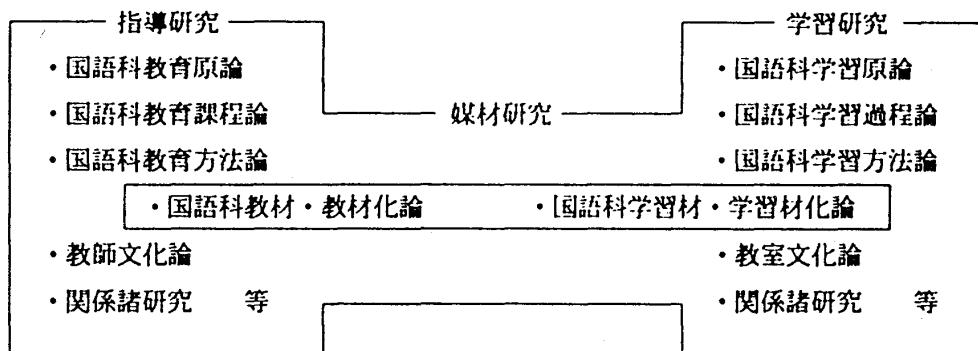
② 有澤「学習材産出型 TT による文学の授業：「ウォーツ」の解釈をめぐる話し合いについて」(日本国語教育学会『月刊国語教育研究』2002.9)

別紙

③ 教科教育実践学「国語」の構造



④ 媒材論としての国語科教育実践学



平成10・4 国語科授業コミュニケーション場面における予測不可能事象の研究—学習材化概念の導入による教育実践学の構想 (藤森裕治, 上越教育大学大学院修士論文私家版)

⑤ 場面の事象観察による国語科実践学 (スネークモデル)

有澤 (国語科実践学研究グループ) 「国語科実践学の研究」
(上越教育大学国語教育学会発表資料、2002.2 より) 別紙